

当院で心臓外科手術を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2015年1月1日～2024年12月31日の間に、心臓外科手術を受けて集中治療室(ICU)に入室後に赤血球輸血を受けられた方

【研究課題名】心臓血管外科術後患者におけるHb9g/dl以上での輸血の肺動脈酸素飽和度による妥当性の検討

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 集中治療部 医長 南 公人

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、心臓外科術後患者における適切な輸血の指標を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来的に術後患者の治療の質向上に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

診療情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、手術術式、手術のリスクスコア、血圧、脈拍、体温、呼吸数、体表から測定する酸素飽和度、投与酸素濃度、動脈血の酸素濃度、集中治療室で使用した肺動脈カテーテルから得られた測定データ、血液検査における血液数値・肝機能検査・腎機能検査のデータ、輸血前後を含めた入院中の血液ヘモグロビン値の推移、尿量、意識状態のスコア、鎮静薬及び鎮痛薬の量、強心薬及び昇圧薬の量、敗血症・心筋梗塞・肝障害を含めた術後合併症の有無、死亡及び病院滞在日数を含めた転帰に関する情報

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より 2030 年 12 月 31 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2025 年 3 月 7 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 集中治療部 医長 南 公人

電話：06-6170-1070